

教育委員会会議録

平成24年11月5日(月) 午後1時30分 開会

午後2時17分 閉会

1 議事日程

別紙のとおり

2 出席した委員

平石賢二委員長、豊島半七委員、笠松和永委員、岩月慎自委員、佐藤元英委員
野村道朗教育長

3 説明のため出席した職員

長崎栄一教育次長、岡田信管理部長、岩間博学習教育部長、加古三津代生涯学習監
杉浦慶一郎総合教育センター所長、杉浦章司総務課長、後藤由紀夫財務施設課長
溝口正己教職員課長、伊藤良一福利課長、森繁雄生涯学習課長
笹尾幸夫高等学校教育課長、稲垣寿義務教育課長、上田裕特別支援教育課長
長谷川勢子健康学習課長、大野芳樹体育スポーツ課長
安藤綾子教育企画室長、八木亨文化財保護室長
山本雅夫総務課主幹、鹿取健司財務施設課主幹、與語勝廣教職員課主幹
山中仁教職員課主幹、齋藤典久高等学校教育課主幹、林一也高等学校教育課主幹
黒谷厚志特別支援教育課主幹
稲葉均総務課課長補佐

4 委員長報告

なし

5 教育長報告

自己情報不開示決定処分取消請求事件について

溝口教職員課長が、自己情報不開示決定処分取消請求事件3件に係る判決言渡について報告。

豊島委員が、原告は今までに裁判に出てきたことはあるのか。また、弁護士は立てているのか質問。

溝口教職員課長が、裁判には出てきている。弁護士は立てていないため、裁判自体もすべて原告自身で行っている旨答弁。

平石委員長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

6 議題及び議事の概要

平石委員長が各委員に諮り、第22号議案 公立学校長の人事については人事案件であるため、協議題1 損害賠償の額の決定及び和解について、協議題2 平成24

年度教育委員会所管 12月補正予算（案）について、協議題3 愛知県教育委員会事務処理特例条例の一部改正について、協議題4 訴えの提起について、協議題5 愛知県立学校条例の一部改正について、協議題6 愛知県心身障害者コロニー条例の一部改正については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条に基づく事前協議であるため、非公開において審議することとした。

第18号議案 平成25年度愛知県立高等学校生徒募集計画について

後藤財務施設課長が、平成25年度愛知県立高等学校生徒募集計画を策定するため請議。

豊島委員が、公私協議の過程で例年と違った議論はあったか質問。

後藤財務施設課長が、このところの計画進学率に対する実際の進学率は3%程乖離した90%くらいで推移しており、公私比率は公立高校2に対し私立高校1となっているが、公立高校の方の募集枠がほぼ逼迫しているのに対し私立高校の方は2,000人くらいの欠員が出ているため、3%の乖離は結果的に私立高校の欠員が生み出している。私立高校の方としては公立高校の方が取りすぎているという感覚を持っており、公立高校の枠を狭めることにより私立高校の方にある程度生徒を引き入れてくるのが可能ではないかということで、計画進学率を下げてもどうかということと言われた。公立高校の募集枠が逼迫している状況で計画進学率を下げると計算上あふれ出る生徒が出るが、何らかの形で私立高校の方に誘導してくるようなセーフティネットを十分張らないでただ単に計画進学率を下げるだけではさらに進学率が下がると説明し、今後引き続き協議をしていくということで、来年度の計画進学率93%の合意を得た旨答弁。

佐藤委員が、社会情勢の変化や地域における産業の状況等に対応を図っていくため、専門学科コース制の設置をするということであるが、このような新しいものをつくるきっかけというのは地元からの要望なのか、学校からの要望なのか質問。

笹尾高等学校教育課長が、それぞれ地域による理由があるが、例えば宝陵高等学校福祉科の医療看護進学コースは、東三河地域の看護師が不足しているという地元からの強い要望があり設置することとした。常滑高等学校の普通科コース制の変更については、学校が国際理解教育に力を入れるということ、自然科学コースがここ数年10人を割る入学しかなかったという実情もあり、どちらかという学校からの強い要望によるもので、両方の場合がある旨答弁。

平石委員長が各委員に諮り、全会一致により原案どおり可決された。

第19号議案 平成25年度愛知県立高等学校入学者募集について

笹尾高等学校教育課長が、平成25年度愛知県立高等学校入学者選抜を実施するに当たって、入学者募集要項を定める必要があるため請議。

豊島委員が、推薦入学の募集定員枠の基準の運用等については、各学校にすべて任されているのか質問。

笹尾高等学校教育課長が、推薦入学の募集定員枠は、普通科については募集人員の10%程度から15%程度、専門学科及び総合学科については30%程

度から45%程度としているが、15%、45%を超える場合は教育委員会の承認を得ることになっている。推薦入学については、いろいろ意見もあるので、現在行っている愛知県公立高等学校入学者選抜制度の改善に関する検討会議の中でも検討していきたいと考えている旨答弁。

岩月委員が、具体的な教育課程等について何か新しい動きはあるのか質問。

笹尾高等学校教育課長が、例えば尾北高等学校及び御津高等学校の英語科を国際教養科に改編するが、異文化コミュニケーションや国際理解という新しい科目を設けるという動きがある。また、古知野高等学校に新たに観光ビジネスコースを設置するが、「おもてなし」という気持ちを子どもたちに伝える科目やおもてなし演習、観光実務、観光英語等、観光に関する新しい科目を設定して対応することとしている旨答弁。

平石委員長が各委員に諮り、全会一致により原案どおり可決された。

第20号議案 平成25年度愛知県立高等学校専攻科入学者募集について

笹尾高等学校教育課長が、平成25年度愛知県立高等学校専攻科入学者選抜を実施するに当たって、入学者募集要項を定める必要があるため請議。

平石委員長が、高等学校の専攻科を卒業することで、その後のキャリアにおいてどのような違いがあるのか質問。

笹尾高等学校教育課長が、瀬戸窯業高等学校と三谷水産高等学校で少し目的が違っており、瀬戸窯業高等学校の専攻科に入ってくる生徒が、例えば大学を卒業してから新たに窯業の技術を身に着けたいとか、企業で働きながら技術を高めたという目的であるのに対し、三谷水産高等学校の専攻科に入ってくる生徒は、さらに上の水産の資格を取り、将来の職業に就くために自分の資格をさらに高めていくという目的である旨答弁。

豊島委員が、瀬戸窯業高等学校や三谷水産高等学校の本科から専攻科へそのまま進学してくる者は大体どの程度いるのか質問。

笹尾高等学校教育課長が、瀬戸窯業高等学校専攻科については、ここ数年1、2名であり、三谷水産高等学校専攻科については、ほとんどが本科からの進学である旨答弁。

平石委員長が各委員に諮り、全会一致により原案どおり可決された。

第21号議案 平成25年度愛知県立特別支援学校幼稚部及び高等部入学者募集について

上田特別支援教育課長が、平成25年度愛知県立特別支援学校の幼稚部及び高等部の入学者選考を実施するに当たって、入学者募集要項を定める必要があるため請議。

平石委員長が各委員に諮り、全会一致により原案どおり可決された。

第22号議案 公立学校長の人事について

非公開において審議されたため、愛知県教育委員会会議規則第16条第3項の規定により、会議録は別途作成。

協議題1 損害賠償の額の決定及び和解について

非公開において協議されたため、愛知県教育委員会会議規則第16条第3項の

規定により、会議録は別途作成。

協議題2 平成24年度教育委員会所管12月補正予算(案)について

非公開において協議されたため、愛知県教育委員会会議規則第16条第3項の規定により、会議録は別途作成。

協議題3 愛知県教育委員会事務処理特例条例の一部改正について

非公開において協議されたため、愛知県教育委員会会議規則第16条第3項の規定により、会議録は別途作成。

協議題4 訴えの提起について

非公開において協議されたため、愛知県教育委員会会議規則第16条第3項の規定により、会議録は別途作成。

協議題5 愛知県立学校条例の一部改正について

非公開において協議されたため、愛知県教育委員会会議規則第16条第3項の規定により、会議録は別途作成。

協議題6 愛知県心身障害者コロニー条例の一部改正について

非公開において協議されたため、愛知県教育委員会会議規則第16条第3項の規定により、会議録は別途作成。

7 通信及び請願

なし

8 自由討議

なし

9 その他

(1) 開会に先立ち、平石委員長から委員の異動について紹介があり、10月18日付で委員に就任した岩月委員、佐藤委員からあいさつがあった。あいさつの後、事務局職員の自己紹介を行った。

(2) 傍聴人 5名